

(公社)神奈川県臨床工学技士会誌投稿規定（執筆要領）（第 1 版）

■一般的事項

1. 投稿資格ならびに条件

筆頭著者は原則として（公社）神奈川県臨床工学技士会の会員とする。

2. 論文の種類

①原著論文（original） ②総説，解説（review）
③研究報告，症例報告，発表論文等（report）とする。

論文の内容は臨床工学に関するもので，会員に対して有益な内容であり，かつ今までに商業誌，海外雑誌を含めて他紙に発表されていないもの，あるいは投稿中でないものに限るものとする。

①原著論文（original）

研究の背景と目的（仮説）が「緒言」で示され，それらを解決するための「方法」，「結果」，「考察」が一定の形式で記述され，目的および背景に応じた「結論」が導かれている論文。論文内容は新規性があり，当該分野の専門家による査読によって成果や有効性が認められる必要がある。著者がその成果について責任を有する。原著論文として投稿された場合には，（公社）神奈川県臨床工学技士会で審査して掲載を決定する。

②総説，解説（review）

一つのテーマについて，これまでの原著や報告を広く検索し，それらを評価してまとめた論文。各主題について，現時点で一般に承認された新しい知識を，公平に読者に提供することを目的とする。同時に，論争はあるが，未来につながる有益な知識については客観的批評をまじえ，記載する。著者の考えとともに客観的な視点が必要で，得られた知見は単なるまとめではなく，その分野において学術的な方針を示すものであることが求め

られる。特集における依頼原稿は②総説に相当するものとする。

③研究報告，症例報告，発表論文等（report）

研究の背景と目的（仮説）に対して「緒言」，「方法」，「結果」，「考察」があるが「結論」を持つ原著とするには十分な結果と検討が行われていないものの，当該分野の専門家による査読によってその知見自体を伝える新規性と意義がある論文。学会会員に知っておいてもらいたいことなどを，客観的に文書にしまとめたもの。臨床工学会の発表内容の投稿なども発表論文として受け付ける。

3. 倫理規定

研究の実施にあたっては，施設の研究倫理委員会等の承認を受け，その承認のもとに当該研究が行われたことを明記し，その承認番号等を記載する。なお，人を対象とする研究については，世界医師会によるヘルシンキ宣言に基づき，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 4 年 3 月 10 日一部改正，文部科学省，厚生労働省，経済産業省告示）を遵守する。

4. 利益相反（COI）に関する事項

投稿論文の内容に関し，COI 状態を掲載論文の末尾，謝辞または文献の前に掲載する。規定された COI 状態がない場合は，「申告すべき COI はなし」などの文言を掲載する。なお，責任著者が営利を目的とする企業・法人組織や団体に勤務し明示している場合は，COI 状態を報告する必要はない。

5. 著作権・著作権

会誌に掲載されたすべての著作物の著作権・版

権は、(公社)神奈川県臨床工学技士会に帰属する。

6. 論文の採否

投稿論文の採択は神奈川県臨床工学技士会の審査(査読制)によって決定し、著者に通知する。査読により論文の修正が必要になった場合、著者は神奈川県臨床工学技士会が指定する期間内に必要な修正を行った上で原稿を返送しなければならない。

7. 著者校正

初校のみ著者校正とし、再校以後は神奈川県臨床工学技士会が行い、著者校正は原則1回とする。組版面積に影響を与えるような改変は認めない。

8. 原稿の送付先

論文原稿 word ファイル(ファイル名は“筆頭著者”名+“論文”のファイル名(例 山田太郎論文) ※論文中に図表を挿入したもの)。

別途、図表の word ファイルを投稿する。

ホームページに公開している【投稿フォーム受け取りのためのメールアドレス】にタイトル【論文投稿 神奈川県臨床工学技士会】と明記し、所属・氏名・論文タイトルを記載しメールを送信する。その後、会より投稿フォームのメールを受け取り、その指示に従って投稿を行う。

9. その他

他誌、Web あるいはメーカーカタログからの図表・写真を引用する場合、必ず著者、製作者の許可を得て、引用先を明記すること。各メーカーの活動を妨害しないよう配慮すること。

「会誌」への掲載の時期は神奈川県臨床工学技士会にて審議・決定するものとする。

1. 原稿の書き方

1) 論文投稿原稿は必ずパーソナルコンピュータを使用すること。投稿は日本語論文で Microsoft 社 word でのデジタル原稿のみとする。表題頁、要旨、英文要旨、本文、文献、表、図説（写真）の順にまとめる。

2) 原稿のページ設定は横書き A4 で一行 40 文字×36 行とし、行間を十分あける。文中のフォントは編集時の文字化けなどを防止するため、日本語は MS 明朝体、アルファベットは Century を使用する。読点はカンマ「,」、句点はピリオド「.」を使用する。頁番号を各頁下部に記載する。

3) 図表の作成にあたっては Word, Excel, Power Point, JPEG, GIF で作成する。図中の文字の手書きは避ける。また写真は図として扱う。図中のフォントは、原則として写真製版するので使った文字がそのまま印刷される。日本語は MS ゴシック、アルファベットは Arial など見やすい文字を使用する。図の表題は図の下に図番号とともに記入する。表は、Excel や Word などで作成する。表内に使用するフォントは原則として日本語は MS 明朝体、アルファベットは Century を使用する。表の表題は図の上に表番号とともに記入する。

2. 論文の体裁

1) 表題頁

①論文の種類

原著論文、総説・解説、研究報告、症例報告、発表論文を記載する。

②表題

題名だけで内容がほぼ想像できて簡潔なものが理想である。表題に製品名は使用できない。サブタイトルには前後にハイフンをつける。原著論文では英文のタイトルも記載する。

例) 低温状態での...血流の検討 - 流体三次元映像化装置の...おける応用 -

③著者名（英文を併記する）。

著者の所属が異なる場合には右肩に数字をつけて区別できるように記載する。英文での著者名も記載する。また著者が複数の場合は、責任著者

（Corresponding author）を明示する。責任著者は論文審査に関わる連絡担当者になるとともに、全著者を代表して当該論文の責任を負う。

例) 鈴木一郎, 山田次郎, 青木三郎¹⁾, 三井四郎²⁾

④著者の所属機関

著者の所属が異なる場合には右肩に数字をつけて区別できるように記載する。英文での所属も記載する。

例) 日本臨床病院 臨床工学部, 日本 CE クリニック 透析センター¹⁾, 日本臨床病院 腎臓内科²⁾

⑤筆頭著者の所属機関連絡先

郵便番号 所在地

施設名 所属

電話番号 Fax 番号

E メールアドレス

例) 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-3-4

日本臨床工学病院 臨床工学部

TEL: 03-5805-2515 FAX: 03-5805-2516

Mail: kanagawa@ka-ces.or.jp

2) 要 旨

要旨（400 字以内）英文要旨（200 語以内）をつける。要旨は実験やシステムの開発、新しい技術、理論などを本文とはまったく独立のものとして書く。ここには議論や解釈、文献の参照や図表は使わずに、論文の中心課題と本文の要点を手短に書いた文章でまとめる。要旨(要約)はほぼ学会演題の場合の抄録にあたるものと同義である。

3) キーワード～索引用語

6 語以内、各語和文 10 字以内、

アルファベット 20 文字以内

本文の内容に関係のある単語を数個列記する。単語は題名に含まれておらず、論文の要素として重要なものがよい。

4) 本 文

①原著論文は目的、方法、結果、考察、結論の順序に記述する。

②製品名にはメーカー名を（ ）で併記する。

③論文は原則として、図表を含め 10,000 字（刷上がり 6 頁）以内。

④図・表は 1 枚あたり 400 字換算（刷上がり 1/4

頁)で10枚以内。寸法の大きな図表は、この割合で枚数を減ずる。

⑤文章は口語体とし、専門用語、欧文もしくはカタカナ書きを必要とする部分以外は常用漢字、ひらがな書きとする。

⑥医学用語は原則として、日本医学会・医学用語委員会編「医学用語辞典」に準拠する。

⑦数字は算用数字を用い、度量衡単位は cm, mm, L, mL, g, °C などとする。

⑧略語を使うときは、初出時に正式名を記した後に () 内に記入する。

⑨見出し記号は、大見出しから順に 1., 2. ……., 1), 2) ……., (1), (2) ……., ①, ② ……., A, B ……., a, b …… とする。

⑩用字・用語は編集部で統一する。統一されていない場合は筆者の了解なく変更することがある。

5) 文 献

①文献の記載順序は本文中での引用順とし、本文中の引用箇所の右肩に、出現順に半角上付きで 1), 2), 3~5) のように記載する。

例) …山田ら⁵⁾の研究では…との報告^{7,11)}もあるが…は数種¹²⁻¹⁵⁾の結果が…

②文献の書き方は次のように統一する。

- ・著者名は原則として全員を記載する。ただし、4名以上の場合は最初の3名を記載の上、それ以後は「ほか」または「et al」とする。
- ・雑誌の略名は、和誌は「医学中央雑誌略 記表」、洋誌は「Index Medicus」に準拠する。
- ・CD-ROM, DVD-ROM の電子文献については以下の表記の仕方に準ずるが、CD-ROM, DVD-ROM であることを () で明記する。

雑誌中の論文

著者名：論文名，掲載雑誌名，出版年（西暦），巻数，号数，はじめのページ - おわりのページ。

例) 臨床太郎，工学花子，神奈川二郎ほか：臨床工学の未来，神奈川県臨床工学技士会誌，1977，Vol. 85，No.6，p. 354-360。

例) Steven L, George S: Development of medical instruments, Journal of Medical Device, 1990, Vol. 98, No. 5, p. 214-218。

単行本

著者名：書名，版表示（初版は省略），出版社，

出版年（西暦），総ページ数。

例) 臨床三郎：臨床工学論，〇〇出版，2000，351p。

例) Tim L: Medical instrument and device, Medical Public, 2001, 257p。

論文集（単行本）中の論文

著者名：“論文名”，書名，編者名，出版社，出版年（西暦），はじめのページ - おわりのページ。

例) 工学四郎：“臨床工学の歴史”，臨床工学の現在と将来，神奈川司子編，医療書房，1999，p. 121-130。

例) Kikai Taro: “Future of Medical Device”, Development of Medical Devices, Kaiser T, Journal of Device, 1990, p. 11-30。

電子ジャーナル中の論文

著者名：論文名，掲載雑誌名，出版年（西暦），巻数，号数，はじめのページ - おわりのページ。入手先，（入手日付）。

例) 臨床五郎，工学洋子：臨床工学の起源，臨床工学，2001，Vol. 89，No. 7，p. 153-168，[http://rinsho.ne.jp/ronbun/153. 168](http://rinsho.ne.jp/ronbun/153.168)，（参照 2008-08-14）。

ウェブサイト中の記事

著者名：“ウェブページの題名”，ウェブサイトの名称，入手先，（入手日付）。

例) 中央医療報告会：“臨床工学のあり方”，臨床工学会，[http://www.ce.ne.jp/ arikata.htm](http://www.ce.ne.jp/arikata.htm)，（参照 2008-11-15）。

3. 図・表（写真を含む）

1) 図表の表題原稿

本文に使用した図表の表題を簡条書きにし掲載する。図表に説明書きが必要な場合にはここに記述する。

図番号：表題「説明」

表番号：表題「説明」

例) 図 1：実験回路「血液は貯血槽からポンプで実験対象に導き，…を経てから再び貯血槽に戻る」

図 2：実験設備全景

図 3：実験結果（血流測定）…

表 1：実験対象

表 2：低温での各部の血流量...

2) 図の原稿

図は本文とは別に、word ファイルを用意する(本文中にも掲載). 発表スライドをそのまま印刷することは避ける. 図の下部に図の表題を書き込む. 図説は、原則として和文で書く. 図の中の シンボル, 矢印, 略字なども説明する.

3) 表の原稿

図は本文とは別に、word ファイルを用意する(本文中にも掲載). 発表スライドをそのまま印刷することは避ける. 表の上部に表の表題を書き込む. 表題および表の中の文字は原則として和文とし、表の説明文はつけない. 記号や略字、統計分析結果などの説明は、表の下部に脚注の形で記載する.

4. 投稿方法のチェックリスト

- ☐ 第 1 頁には論文の種類、題名、著者名、所属、連絡先が明記されているか？
- ☐ 第 2 頁には要旨 400 字以内、英文要旨 200 語以内で記載されているか？
- ☐ キーワードは規程どおり明記されているか？
- ☐ 本文は 1.1) (1) ① の見出しで記述されているか？
- ☐ 文献は規定の表記方法で列挙されているか？
- ☐ 原稿には頁数が打たれているか？
- ☐ 原稿ファイルは Word 形式で著者名のファイル名で保存してあるか？
- ☐ 図表も Word 形式で保存されているか？